



発行:平成 26 年4月 横浜市立市民病院 患者総合相談室

各医療機関の先生方及び関係機関の方々には、平素より大変お世話になり、厚くお礼申し上げます。

さて、今回は、病院全体で昨年度から本格的に着手している再整備事業や今年度の重点取組事項、そして新たに開設した「婦人科内視鏡手術センター」について、と当院の最新ニュースを盛り込んだ内容となっています。是非、ご一読ください。
患者総合相談室 室長 小松弘一

再整備に向けた検討を進めています

市民病院は、昭和 35 年に開院し、病床規模の拡大や昭和 58 年～平成 3 年に行った再整備により医療機能の充実を図りながら、50 年以上にわたり市民の皆様への医療の提供に努めてきました。しかし、現在の建物では、これ以上の医療機能の拡充だけでなく、現行の医療機器の更新を行う上で、施設の狭あい化が大きな課題となっています。

将来にわたり高度で良質な医療を提供し続けるために、再整備に向けた検討を進めています。

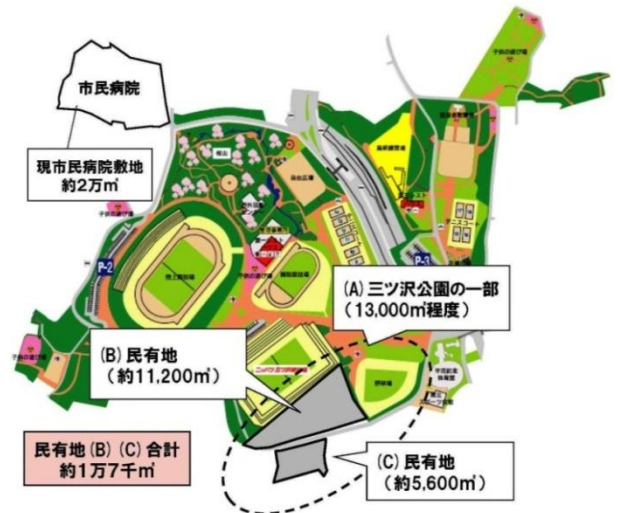
再整備用地について

市民病院の移転候補地を、三ツ沢公園の一部（野球場部分）と、これに隣接する民有地とし、用地取得に向け、地権者との交渉を進めています。

この候補地は、現市民病院から近く、患者さんや地域医療機関との連携に与える影響が少ないことや、公園の面積を減らさず、緑地の減少も最小限に抑えられることなどから、最適な場所だと考えています。

再整備基本計画について

新病院の医療機能についてもあわせて検討を進めています。検討内容は、再整備における基本計画として今後まとめていく予定です。



～新病院の目指す姿～ “安心”と“つながり”の拠点へ

医療提供に係る基本方針

高度急性期を中心とした将来にわたる先進的な医療サービスの提供と市立病院としての役割の発揮

● 3つの拠点機能

政策的医療の拠点

- ・救急医療の強化
- ・小児・周産期医療の拡充
- ・がん対策の推進

市民の健康危機管理の拠点

- ・災害拠点病院としての機能強化
- ・市の感染症対策の拠点

地域医療全体の質向上のための拠点

- ・患者支援機能の強化
- ・地域医療連携の推進
- ・地域医療人材の育成

整備・運営に係る基本方針

- 患者や医療従事者に信頼され、選ばれる病院
- 環境と調和し、人にも環境にも優しい病院
- 安全で良質な医療サービスの提供と健全な病院経営

事業規模

病床数 650 床 (うち感染症病床 26 床)
 計画外来患者数 1,200 人/日程度 (現状 1,200 人/日)
 診療科数等 現行 33 科の診療領域を維持しつつ、機能に応じた再編を検討
 延床面積 60,000 ㎡以上 (病床 1 床あたり 90 ㎡以上、現状 66.5 ㎡)

再整備事業の進捗状況については、今後も地域医療機関の皆様にお知らせしていきます。
より良い新病院を目指して、職員一丸となって取り組んでいきますので、ご理解とご協力をお願いします。

平成 26 年度重点取組事項のご紹介

当院は、横浜市立病院として、「がん」「救急」「周産期」「感染症」「災害」等、地域から必要とされる政策的医療及び高度医療に積極的に取り組んでいます。

平成 26 年度に重点的に取り組むこととして掲げている項目のうち、地域医療連携に関わる事項をご報告します。

医療機能の充実

- *GCU（新生児治療回復室）
6床の設置
地域周産期母子医療センターとして新生児医療機能の向上を図ります。
- *「婦人科内視鏡手術センター」
の設置

患者サービスの向上

- *「患者総合サポートセンター（仮称）」の設置
入院から退院まで、患者さんを総合的に支援します。
- 併せて、受付や会計の環境改善に取り組めます。

災害拠点病院として

- *神奈川 DMAT の指定
平成 26 年 3 月に指定を受けました。派遣時の災害現場で効果を発揮できるよう整備します。
- *データの遠隔地バックアップ
医療データの遠隔地保管を行い、災害時の消失を防止します。

平成 26 年 4 月 「婦人科内視鏡手術センター」を開設しました



婦人科内視鏡手術センター長
産婦人科 科長・部長

茂田博行

当院では平成 26 年 4 月より、婦人科内視鏡手術センターを開設しました。婦人科では、従来開腹で行われてきた手術が、より低侵襲な腹腔鏡手術に急速に移行してきています。以前から卵巣腫瘍や異所性妊娠では腹腔鏡手術が広く取り入れられてきましたが、子宮筋腫核出術や子宮全摘術も腹腔鏡下で行われることが一般的となってきました。当院でも、先進医療下に腹腔鏡下子宮体がん根治術を行ってきましたが、平成 26 年 4 月より、この手術が保険適応となりました。今後、より腹腔鏡手術の有用性が増すものと考え、婦人科内視鏡手術センターを設立する運びとなりました。

当センターでは、卵巣腫瘍、子宮内膜症などの手術や子宮筋腫に対する全腹腔鏡下子宮全摘術などはもちろんのこと、内視鏡技術認定医と婦人科腫瘍専門医の協力のもと、準広汎子宮全摘や広汎子宮全摘、骨盤リンパ節郭清や傍大動脈リンパ節郭清を含めた悪性腫瘍手術にも取り組んでまいります。なお、開設当初は横浜市立大学附属市民総合医療センター婦人科と協力し、症例の状況に応じ、いずれかの施設で手術を行うことも想定しておりますので、ご理解とご協力をお願いできると幸いです。

当センターは、当院産婦人科の 1 部門として設立されました。ご紹介いただく場合には、当センター宛でも当院産婦人科宛でもかまいません。卵巣がんなど内視鏡手術が適さない場合でも、当院では悪性腫瘍の手術、治療を積極的に行っておりますので、是非ご紹介ください。また、悪性腫瘍の様々な臨床試験にも参加しておりますので、ご相談いただければと存じます。

今後、腹腔鏡手術に加え、子宮鏡手術も早急に開始する予定です。多くの婦人科手術に対応しておりますので、ご紹介よろしく願いいたします。

紹介患者
予約受付

地域医療機関先生方専用 045-341-7224
患者さんからの場合 045-341-5268

緊急/救急
の場合

医師専用地域救急ホットライン 045-331-1849
救急外来 FAX 専用 045-331-1974



〒240-8555 横浜市保土ヶ谷区岡沢町 56 TEL 045-331-1961(代)
<http://yokohama-shiminhosp.jp/> 編集発行 横浜市立市民病院 患者総合相談室